

プロジェクト名	<b>教学ガバナンス見直しプロジェクト</b>
趣旨	迅速で合理的かつ透明性の高い教学の意思決定を図るために、理事会と連携をとりつつ、学長、学部長がリーダーシップを発揮しやすい体制をめざす。
概要	<p>学長をリーダーとし、2013年度学部長をメンバーとする教学ガバナンス見直しプロジェクトを発足し、改革案を作成する。</p> <p>骨子は次の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学長を補佐する体制を充実させる。</li> <li>② 学部長を中心とした円滑な学部運営体制をめざす。</li> <li>③ 協議会、学部長・研究科長会の運営を見直す。</li> <li>④ 学長と全学委員会、センター組織との情報共有を強化する。</li> </ul>
基盤となる NEXT10施策	<b>【分野/推進事項番号/施策番号】 施策</b>
	<p><b>【管理運営-1-(1)】</b> 教学ガバナンスを強化し、教学の最高責任者である学長のリーダーシップによる迅速な合意形成をもとに、教育研究の質の向上をめざす。</p> <p>このため、全学委員会のあり方などを見直し、学長の権限強化と責任を明確にする。また、学長を補佐する体制を強化することにより、学長の権限に実効性をもたせる。</p>